

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 106

事務事業名	地球温暖化対策推進事業
-------	-------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	市民環境部		
課名	環境保全課		
課長名	原 和彦	内線	178
担当者名	松下 昌也	内線	142

基本目標		機能的で環境と調和したまち
政策	050401	環境にやさしいまちづくり
施策		環境保全の推進
関連施策		

会計	一般会計	
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	5	公害対策費
事業コード	050000	

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画	第4期大村市地球温暖化対策実行計画	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	市民及び事業者		
意図 対象をどのような状態にしたいか	市民及び事業者が温室効果ガスの排出削減に向けた取り組みを実施し、関心を深めることで地球温暖化対策の推進を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	第4期大村市地球温暖化対策実行計画に基づき、市役所から排出される温室効果ガスの排出削減に取り組むとともに、市民、事業者に対しても懸垂幕等の掲出などにより地球温暖化防止の啓発を推進する。 また、大村市地球温暖化対策協議会と協働し、温室効果ガスの排出削減のための取り組みの普及及び推進を図る。		
事業期間	平成 11 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営
根拠法令、要綱等	地球温暖化対策の推進に関する法律、長崎県未来につながる環境を守り育てる条例、大村市環境基本条例		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 懸垂幕等の提示述べ日数	計画値	120	120	120	120	平成22年度から4カ所×30日
		実績値	120	120	120		
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
成果指標	① 市の施設から排出される温室効果ガスの削減	計画値	705	940	1,173	323	H32までに、H26排出量より1,617t-CO2削減するために、毎年度323t-CO2を積み上げた量を削減
		実績値	△ 8,001	△ 7,752	△ 6,205		
		達成度	%	-1134.9%	-824.7%	-529.0%	
成果指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	700	611	602	627	722	722	722	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	700	611	602	627	722	722	722	
② 人件費(千円)	4,780	4,572	4,670	4,451	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.60	0.60	0.65	0.60	市施設排出の温室効果ガスの削減、市民等への啓発	市施設排出の温室効果ガスの削減、市民等への啓発	市施設排出の温室効果ガスの削減、市民等への啓発	
時間外勤務(時間)	6	19	43	44				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	5,480	5,183	5,272	5,078				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	グリーンカーテンの作り方教室は、地球温暖化防止対策の一環として、家庭等においてグリーンカーテンを設置する取組を実施し、グリーンカーテンの設置方法や土づくり(ぼかしづくりや生ごみでの堆肥づくり)を実演するなど充実した講座内容に参加者からの評判も良かった。また、職員向けのエコドライブ講習会(実技)においては、講義及びドライビングシミュレーターによるエコドライブを体験してもらうことで、環境にもやさしく、経済的にもメリットがあることを理解するきっかけとなった。 なお、イベント会場での一般向けのエコドライブ体験については、会場の都合により開催できなかった。
事業が抱える問題・課題等	「第4期大村市地球温暖化対策実行計画」に基づき市の事務・事業から生じる温室効果ガス削減を図るため、目標や取組を定め、環境負荷への低減を図るよう取組んでいるが、この計画を市職員1人1人が理解し、実践していくことが課題となっている。また、エコドライブ講習会の実施については、燃料測定器の対応できる車両がなくなってきたため、実技(道路走行)講習の開催ができない問題がある。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし
	市による温室効果ガス削減の取り組みや市民等への情報提供等は、市全体の温室効果ガス削減の取り組みを促す契機となることから、その必要性は高い。					
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし
	「地球温暖化の推進に関する法律」により、地方公共団体は地球温暖化対策の実行計画の策定及び実施状況について公表することが義務づけられている。					
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし
	CO2排出量の削減量については、計画値を達成することができなかったが、温室効果ガス排出量の約95%を占め、CO2排出量要因の約61%を占める電気使用量については、減少傾向であり、市が温室効果ガス削減への取り組みを自ら実践し、市民等に向けて講座・講習会等の実施やPRを行うことで温室効果ガス削減について一定の効果がある。					
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし
	地球温暖化防止対策は市自らが取り組むとともに、市民等に向けて事業を実施したり、情報を提供することで、市全体における一定の効果が得られる。					
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし
	以前に経費を削減しており、事業継続のためには、削減の余地はない。					
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし

※事業類型が1~3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持
--------	------

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	県や長崎県地球温暖化防止活動推進センターと協力しながら、イベント会場等で市民の方にドライビングシミュレーターによるエコドライブの体験を実施する。 平成28年度からの第4期大村市地球温暖化対策実行計画に基づき、全職員を対象とした研修(地球温暖化防止対策や現状・ごみの分別・エコドライブなど)を実施するとともに、新規採用職員研修など機会あるごとに研修を実施し、環境問題についての体系的な意識向上に取り組む。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。